

地域の高齢化、近所の人たちと話す機会の減少など、地域の人たちの交流が疎遠になりつつあります。住んでいる所に誇りや親しみを持ち続け、お互いに助け合い、安心して暮らし続けるためにどうしたらよいのでしょうか。

今年度、年6回の講座を開催し、住民と市職員が一緒になって考えていきます。第3回、第4回を開催しましたので、皆さんに報告します。(平成 26 年 12 月)

## 第3回 先進地区事例学習『長野県飯田市』

平成 26 年 9 月 27 日(土)、講師に長谷部三弘氏(地域おこしグループの「鎮守の杜風土舎」代表)、木下巨一氏(飯田市公民館副館長)を迎えて講座を開催しました。資料や講師発言、ワークショップ(グループによる話し合い)の発表の一部を紹介します。

### <飯田型の行政・公民館について>

飯田市は、昭和 12 年から平成 17 年にかけての市町村合併の都度、旧町村単位に地区公民館を配置してきた。(※整理統合する市町村が多い)

#### 「4つの運営原則」(昭和 48 年制定)

##### ①地域中心の原則

まちづくりは日常生活に身近な地域から。公民館は常に地域を中心としてとらえた学びの場。

##### ②並立配置の原則

地域の規模や特徴は異なっても 20 地区の公民館は対等。

##### ③住民参画の原則

公民館事業の企画運営は、地域住民によって自発的な住民意思により行う。

##### ④機関自立の原則

教育行政が一般行政から一定の独立性、中立性を保っていることに鑑み、公民館は自立した体制を持つ。

#### 組織体制

①飯田市公民館(市単位)…地区公民館(20 館)の連絡調整、全市的事业

②地区公民館(地区単位)…住民が主体となり行政と二人三脚で活動

館長は住民、市職員を2人ずつ配置

③地区分館(自治公民館)…生活に密着した日々の活動を全て地区住民で展開、103 館

#### 公民館は協働の原点、公民館で学ぶ市民と職員

公民館に配属された市職員は、公民館で住民との協働を学び、「現場にこそ問題解決の糸口がある」「多くの住民同士が知恵を集めれば、それだけ解決の道筋が豊富に見える」「主体となり成果をあげることが実感できた住民は、次の活動にも足を踏み出すことで、自治の担い手として育っていく」など様々なことを学び、次の職場の仕事ぶりにも影響を及ぼしている。

#### ※講師より

「飯田市の場合は、公民館が住民と行政をつむいでいる。今後、常滑市としての公民館(のようなもの)をどうやってつくったらよいかを考えると良いのではないか。」

## <集落から積み上げる自治・まちづくり>

平成2年、上久堅地域では、13の集落が“自立”するための構想として、地域住民の手で「鎮守の杜構想 ～十三の郷づくり～」を策定。

構想が“画に書いた餅”にならぬよう、13の集落が“競演”するための三つの宿題がある。

- ①集落が「シンボル花木」を選定し植樹する
- ②集落が「自主的実践グループ」を立ち上げる
- ③集落が「行動計画」を立て具体的に実践する

### ■集落づくりの設計図

- 関係資料を集める
- アンケートで住民意向把握
- 現地調査で実態確認



※8つに分類する

- 1 成立の条件
  - ①地理的位置
  - ②歴史と伝統
- 2 維持の条件
  - ③財政の確立
  - ④防災対策
- 3 安定の条件
  - ⑤地域福祉
  - ⑥学習文化
- 4 発展の条件
  - ⑦生産活動
  - ⑧建設事業



※アドバイザー(日本福祉大学大濱准教授)より

「物事が動くには必ず3つの側面が必要。①資源(人・物・金)、②組織、③規範(ルール)。人や金があっても、それを動かす組織や規範がないと上手くいかない。」

## グループによる話し合い結果

★主な意見を一部抜粋

- ・地域のことをよく知ることが重要。
- ・上久堅地域のような構想を真似ることから始めることが大切だと思う。
- ・地域の夢を語り合う場があるといい。
- ・まちづくりは人づくり。郷土に愛着を持ち集うことがまちづくりの基礎。
- ・まちの発展のため市内で生かせそうなものは何かを考える。
- ・常滑は湘南のような魅力があるという転入者がいる。転入者の参加を積極的に促したらどうか。
- ・次の世代へ継承していくために若い世代と交流することが重要だと思う。

※その他、空き地や空き家の活用、市職員の地域参加など、多くの意見が出ました。

# 第4回 先進地区事例学習『半田市岩滑地区』

平成26年11月16日(日)、遠藤孝司氏(半田市岩滑区長)を迎えて講座を開催しました。資料や講師発言、ワークショップ(グループによる話し合い)の発表の一部を紹介いたします。

## 岩滑区の紹介

・人口約 6,700 人、約 2,700 世帯、区加入率約 78%、区長任期は2年

### ・主な歴史

【昭和 50 年】岩滑区コミュニティ推進協議会発足、【平成 16 年】岩滑区自主防災会の再発足(自治区組織から独立)、【平成 17 年】防災まちづくり事業モデル地区に指定、【平成 18 年】区が認可地縁団体となり法人格を得る、【平成 23 年】防災まちづくり大賞総務大臣賞受賞、【平成 25 年】防災功労者内閣総理大臣賞受賞

### ・主な組織

岩滑区(地縁団体) - 役員 - 町内会長等 - 隣組  
 岩滑区コミュニティ推進協議会 - 常任委員会 - 部会(環境、福祉、安全等)  
 岩滑区自主防災会 - 防災運営委員会 - ブロック自主防災会

### ・主な活動

募 金 (赤十字社資、赤い羽根など)  
 環境美化 (年2回一斉草刈り他、マツバボタン等の植付や草取など)  
 地域福祉 (敬老会、ふれあい会会食、頭の体操教室、ごんの灯りなど)  
 自主防災 (区総合防災訓練年1回、防災会議6回、部会や研修など)  
 防 犯 (毎月2回徒歩、随時車で防犯パトロールなど)  
 地域交流 (盆踊り、区民運動会、卓球大会、区民展など)  
 そ の 他 (資源回収月1回、講座月1回、行方不明者搜索訓練、お助け隊)

## <自主防災の取組み>

( )町内住民簿兼防災会台帳

平成 年 月現在	住 所	電 話 番 号	自主防災会協力の可否	隣組番号 ( )
半田市			協力いただける場合、希望の順に番号を記入下さい	災害時に役に立つ資格・技能があったら記入お願いします
家 族 氏 名	続 柄	生 年 月 日	勤務先又は職業	緊急時連絡先
1	世帯主			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
ゴミステーション登録	ステーション名	ステーション所在 町内	区分 (○印を)	例
			一般・専用	(2) 消防班 (1) 情報班 ( ) 避難誘導班 ( ) 協力不可 ( ) 給食給水班 ( ) 救出救護班 ( )
災害発生時の避難予定先	1. 岩滑小学校 2. 半田中学校 3. 半田高校 4. 半田農業高校 5. 半田工業高校 6. 岩滑公民館			
○印を付けて下さい	7. 避難しない 8. その他 ( )			
記入上の注意・お願い	1. 自主防災会の協力の可否、希望する班については中学生以上の方を対象に記入して下さい。希望に添い、各ブロックの班編成の参考にさせていただきます。			

岩 滑 区

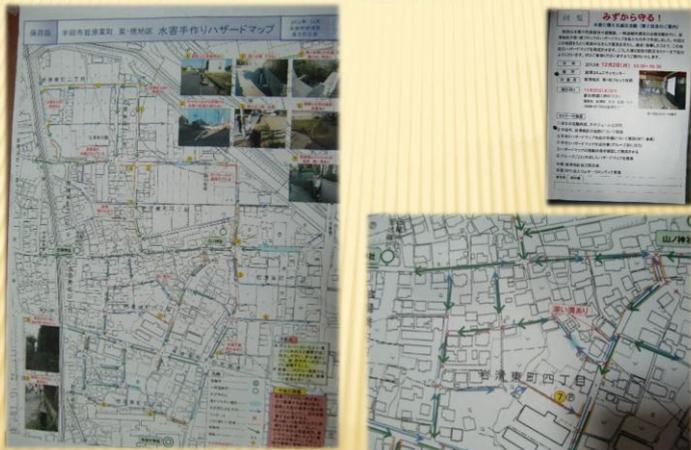
## 防災会台帳

Q. 個人情報保護の関係で提出しない世帯も多いのでは？

A. 町内加入の世帯は皆さん提出しています。昔からの取組みで、これまで個人情報が流出して問題になったことはありません。3年に1回更新しています。

平成24・25年度

## 紫・桃ブロック手作り 水害ハザードマップ



いざ大雨などにより避難しなければならなくなった時 どう逃げたらいいかを話し合いの上 作成しました。危険箇所確認が目的。

14/20

防災まちづくり大賞総務大臣賞

防災功労者内閣総理大臣賞

岩滑区自主防災会

### <その他の取組み>

- 高齢者の憩いの場「ふれあいセンター」
- ニッセイ財団事業『防災から安住のまちづくりへ』…災害時要援護者の取組み等
- 救急医療情報キット
- 岩滑『お助け隊』…高齢者をサポートするボランティア事業
- 安心の見守り やなべ光システム『ごんの灯り』 など

### グループによる話し合い結果

★岩滑区の事例を振り返って自分たちができることは？(主な意見を一部抜粋)

- ・災害時要援護者との集い ・ハザードマップ作り ・家具転倒防止の講習会
- ・町内住民簿兼防災会台帳の作成 ・お助け隊 ・祭礼

※講師より

とにかく出来ることから実現してほしい。相手や現状に合わせて工夫を。全て行政に頼るのはまずい。いつ、どこで、誰が、何を、どのようにやるのか常に考えること。

### 常滑市地区まちづくり講座 次回以降の案内

主催 常滑市・常滑市市民協働推進委員会

開催日時	内容	講師
【第5回】 1月17日(土)14時～	先進地区事例学習 地域担当制(行政による地区のサポート体制)	高浜市企画部総合政策グループ 木村氏
【第6回】 3月7日(土)14時～	まとめ(振り返りと今後の取組みについて) 講座の振り返り、グループでの話し合い 等	

開催場所:常滑市役所

※観覧希望の方は事前申込不要ですので、お誘いあわせのうえお越しください。

問合せ先	常滑市総務部安全協働課(市民協働チーム) 〒479-8610 常滑市新開町4丁目1番地 TEL:0569-47-6108 FAX:0569-35-7879 Eメール: anzenkyodo@city.tokoname.lg.jp
------	--